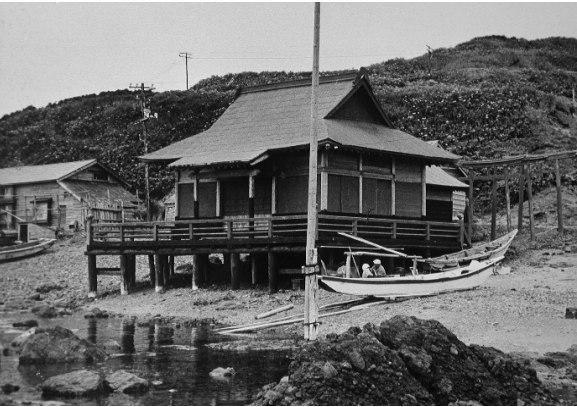


No.	よみ	みないじんじゃ	アクセスマップ	https://maps.app.goo.gl/UvL5mqVW923SHeTd8
礼⑥	名称	見内神社	所在地	北海道礼文郡礼文町香深村
写真			分類	歴史的建造物
 			所在市町村	礼文町
			所在地補足	香深港フェリーターミナルから船泊方面に向かって車で15分
			構造・仕様等	木造平屋、入母屋造
			規格・法量等	
			該当年代	近世※現建物は昭和期の建造
			文化財指定	未指定
			説明	見内神社は、現在神社がある岬の先端に、アイヌがトドマツの枝をささげ、また彼等がその岩を「見ない」ようにしていたため和人が「見内神威」と名付けたとされる、全国でも珍しいアイヌ伝説が起源の神社です。 江戸時代に礼文を訪れた松浦武四郎は、岬の名をイナウウシエンルム、アイヌ語で「幣(ぬさ)が沢山ある岬」と記録しています。大正期の報告では、明治期に、和人が山のように積まれていた枝を燃やしたところ、周辺で不幸が続いたため、岩をご神体として神社を建てたとされます。
上段:神社正面			公開情報	通年拝観可能。
下段:埋め立て前の様子			参考資料	宮坂光次(1924)「見ないカムイ」『人類学雑誌』第39巻第7・8・9号pp.274-279
			関連サイト	http://rebun.org